

NISHINOMIYA EBISU

西宮  
えびす

令和二年

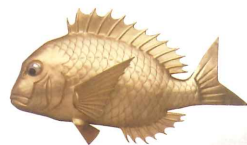
新春号

十日えびす

令和二年  
一月から六月の  
行事予定

# 令和二年 新春

西宮神社宮司 吉井良昭



## 新

春を迎え、謹みて皇室の弥栄を寿ぎ奉りますとともに、氏子・講員そして崇敬者各位の益々のご繁栄をお祈り申し上げます。

昨年五月一日に第百二十六代として天皇陛下は踐祚あそばされ、秋には即位礼正殿の儀、大嘗祭と御大典の諸儀が国民奉祝の内に厳肅に恙無く執り行われ「令和」の御代が開かれました。皆様にはここに「令和」となり初めての正月を、清々しいお気持ちで目出度く迎えられたことと存じます。

当社でもっとも古くから行われている神事は海上渡御祭です。えびす大神さまが初めてご出現になられた神戸和田岬へ一年に一度、船を飾り立てて海上を渡御するもので、初見は治承四年(一一八〇)で中山忠親の日記「山槐記」に記されています。この年は安徳天皇のご即位に始まり平清盛による福原遷都、更には伊豆での源頼朝の挙兵へと続く波乱の年でした。このような源平相打つ激動の中、安徳天皇の即位に伴う大嘗祭をどのように行うかが問題となり、狭隘の地福原での都造りという政治的課題と相俟って複雑化し、武家の棟梁たる清盛方と故実に通じる公卿方とで意見が分かれました。清盛は当然福原で行う、一方在京の公卿九条兼実は

彼の日記「玉葉」で「謂大祀、謂遷都、共是国家重事也、相並被行者、国費多歟」(大祀＝大嘗会)とし、同時に行うのではなく、先ず旧都(京都)へ還り大嘗祭を行った後に、遷都の沙汰があればよいのではないかと建言し、それが「表神事之不軽、欲遷都之無煩之故」であると示しています。この時の大嘗祭は寿永元年(一一八二)に、焼亡した朝堂院に替わり初めて紫宸殿前庭で行われました。武家の興亡の只中、即位・遷都という重儀も揺らぐ歴史の流れにあっても、大嘗祭はその本義を失うことなく肅々且つ厳然と執り行われていたことは記憶に留めておかなければならないでしょう。このような史実から、戦国期から近世までの長い中絶の時期でも常に再興を願い、実現に向けて力が尽くされていたであろうことは十分に読みとることができます。

それゆえに穏かな世で、国民挙つて奉祝の誠が捧げられたこのたびの大嘗祭は、国家と国民の安寧に祈りを捧げられる大御心に叶うものでしょう。そしてこの優渥なる皇恩に抱かれている有り難さに只々感謝の意を捧げる所です。

えびす大神さまのご加護のもと、豊かな福をお授かりになり一層のご多幸をお祈り申し上げます。

## 西宮大神社





西宮神社 えびす信仰資料展示室 第29回企画展

# 「発見!! 暮らしの中のえびすさま」展

令和元年11月1日～令和2年2月27日

開館時間：午前9時～午後4時（12月27日～1月12日は閉館）



鯛が2匹いる  
レアな  
エビスビール



えびすさまが  
デザインされた  
テレフォンカードや  
歴代の阪神電鉄  
らくやんカードなど  
珍しいものが  
盛りだくさん



えびすさま  
グッズや  
お菓子



えびす印の  
珈琲牛乳



今回の展示  
は、平成から  
令和という御  
代替わりに合わせて、今ま  
でに無かった新しい視点で  
行っております。エビスビ  
ールなどのお酒類や、お菓  
子、えびすさまグッズ、テレ  
フォンカード、阪神電鉄ら  
くやんカードなど私たち  
が普段使うものにデザイ  
ンされたえびすさまを展  
示しております。歴代のら  
くやんカードが全て揃って  
いるのは恐らくここだけだ  
と思います。珍しいものや、  
可愛らしいデザインのもの  
が多く老若男女を問わず  
楽しんで見て頂けると思  
います。参拝の際には是非  
お立ち寄りください。

**当**社では、歴代神主等が書き綴ってきた江戸時代の社務日誌を『西宮神社御社用日記』（清文堂出版）として翻刻、刊行する事業を進めております。この度、「御社用日記」の内容を一般の方向けにご紹介する企画として『えびすさま よもやま史話—「西宮神社御社用日記」を読む』（神戸新聞総合出版センター）を刊行いたしました。江戸時代の西宮神社や諸地域のえびす信仰の多彩なあり方を、全60篇の史話にまとめております。本書を通して「えべっさん」の新たな魅力に触れていただけたら幸いです。  
◎税別1,800円 西宮神社または一般書店でお求め下さい。



# 十日えびす

一月九日(木)宵えびす

一月十日(金)本えびす

一月十二日(土)残り福

一月九日から一月十一日まで

三日間行われる「十日えびす」は、

福の神えびすさまのご神徳が

最も高まると言われ、

全国各地から、

毎年百万人を超える

参拝者で賑わいます。

一月八日(水)  
午前九時三十分頃

【招福大まぐる奉納式】

十日えびすの前日の八日、

商売繁盛と大漁を願って、

神戸市東部水産物卸売協同

組合など三社から拜殿に大

まぐるが奉納されます。

胴体に賽銭が貼りつく

「お金が身につく」と言われ、

大勢の参拝者が願をかけたに

訪れます。



開門神事福男選び



## ●福男になるには？

毎年約5000人が参加する福男選びですが、その中で福男になる為にはどうしたら良いでしょうか。

まず1月10日午前零時より抽選を行います。こちらの抽選で開門時に先頭に並べる人の場所割り(Aブロック108人、Bブロック150人、それ以外は先着順)を決めます。つまり福男になるには、抽選でAブロックに入る運が必要なのです。

またこちらの神事は「福男選び」と言われていますが、女性も参加可能です。今年度も皆様のご参加お待ちしております。



〓十日えびす〓

一月九日(木)

午後二時頃

【有馬温泉献湯式】

日本最古の名湯として知られる有馬温泉から金泉が奉納され、温泉の繁栄と旅館組合の商売繁盛を祈り、湯もみが奉納されます。また金泉に1円玉を浮かべて拝むと福を招くと言われております。

一月十日(金)

午前四時

【十日えびす大祭】

十日午前零時に全ての門を閉ざし、居籠(いごもり)といって身を清め祭典を厳粛に執り行います。

一月十日(金)

午前六時

【開門神事福男選び】

午前六時、表大門(赤門)が開かれ、外で待っていた参拝者たちが一番福を目標として230m離れた本殿へ「走り参り」をします。本殿へ早く到着した一番から三番までがその年の「福男」として認定されます。



招福大まぐろ

○新年ご祈祷のご案内

十日えびすは、えびすさまのご神徳が最も高まる日と言われています。正月三日と十日えびすの三日間は、特別に本殿での昇殿祈禱を奉仕致します。新玉の年、えびすさまの福をいただきます。

◆受付時間

- 1日 午前0時～午後6時
- 2、3日 午前9時～午後6時
- 4～8日 午前9時～午後4時 ※祈禱殿
- 9、11日 午前8時～午後10時50分
- 10日 午前6時～午後10時50分
- 12日以降 午前9時～午後4時 ※祈禱殿

ご祈祷料 個人 5,000円～  
団体 20,000円～



有馬温泉献湯式



# 海上渡御祭 再興二十年についで

令和元年は海上渡御祭が平成十二年に約四百年ぶりに再興されてから二十年の節目に当たり、種々の記念行事が催されました。

## ①「えびすさまの道 西国街道福めぐり」西宮神社から和田岬へ

海上渡御祭の復路(還御)には陸路が用いられた古儀に倣い、園田学園女子大学名誉教授の田辺真人先生の引率で行程を四日に分けて踏破しました。四月二十七日は西宮神社から摂津本山駅まで(約五キロ)。五月二十五日は本山駅から大石駅まで(約六キロ)。六月二十二日は船寺神社から神戸駅まで(約六キロ半)。七月二十七日は台風接近のため八月二十四日に延期して湊川神社から和田神社まで(約五キロ)。百四十五名の方々が各所神社や名所の解説を受けながら得難い踏破を無事に達成されました。

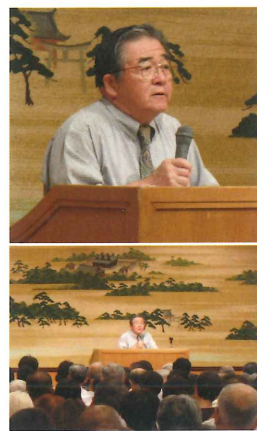
## ②「西国街道 御朱印福めぐり」

当社から和田岬までの十七の社寺を巡拝して、えびすさまの招福の道をとります。全ての御朱印をお受けになる方が毎月多数お越しになります。

(期間は令和二年三月末まで)



## ③ 記念講演会「えびすさまと海上渡御」和田岬から西宮神社へ



えびすさまの伝説から「まつり」や「かみさま」「先祖」の事など田辺先生の幅広く面白いお話しに約二百六十名の方々が集われました。

(当社社会館)

## ④ 和田岬への神幸

平安以来の古儀に倣いえびすさまの御座船をはじめ約二十艘全船で和田岬へ神幸し、御旅所祭を行う予定でしたが、台風十七号の影響で海上航行が不可能となり、本殿での祭典執行となりました。和田岬への海上渡御は令和二年に延期の予定です。

(左記★を参照ください)

## ⑤「西宮大神本紀絵巻」の復元

昭和二十年八月の空襲により焼失した絵巻のうち、残された絵葉書資料から海上神幸図や和田岬御旅所図などが復元され令和二年三月ころ完成の予定です。

## 重要文化財 「表大門(赤門)」と 「大練塀」の修理

西宮神社の表門、開門神事の出発点として「赤門」と親しまれる表大門が令和二年に木部の修復・塗装という工程で修理されます。前回は平成七年の阪神大震災のち年内に補修され、それ以前は昭和五十七年、同三十六年と遡ります。また赤門の左右と境内の南側に伸びる約二百四十メートルの大練塀の保存・改修工事が令和元年から同三年度にかけて行われます。こちらは平成八年以来の工事で、それ以前は昭和六二年と同二七年に補修・版築された記録が残っています。どちらも祭典や参拝に影響のある時期がありますが、数十年に一度の工事風景や作業工程をご覧になれる機会とも言えるでしょう。美しい竣工が待ち望まれます。

## ★令和二年 西宮まつり 日程

九月二十日 下旬祭

二十一日 敬老の日祭、稚児行列、

子ども樽みこし、宵宮祭、奉納演芸会

二十二日 本殿例祭のち和田岬へ神幸

※令和2年は秋分の日が22日になる事から2日間での西宮まつりとなります。

# 社頭のお話の

②



●平成28年6月20日 下旬祭 社頭講話

## 言葉の力『言霊』

古来より日本において人が発する言葉には魂が宿り、霊的な力があると信じられてきました。それは言葉と言われ、使い次第で良い言葉を発すれば良い事が起こり、また悪い言葉を発すれば悪いことが起こると言われています。

例えば、学校や職場でいつも文句を言っている人、『めんどくさい』『疲れた』『むかつく』など愚痴の多い人、泣き言ばかり言っている人、怒鳴り散らして怒っている人はいませんか。学校や職場にそうした人がいますと、必ずと言っていいほど雰囲気が悪くなります。悪い言葉、マイナスな言葉を使う人が側にいるだけでその本人ももちろんですが、周りの人達までも巻き込んでやる気や運気が落ちてしまいます。そしてそういう言葉を使う人達は類は友を呼ぶもので不思議と集まってくるものです。

しかし良い言葉を発していれば、良い事を招きます。例えば『ありがとう』『大丈夫』『感謝しています』『嬉しい』『楽しい』『幸せ』など。プラスの言葉

を常に自分から発信していると周りの人をもプラスにし、それが回りまわって自分にとって良い影響をもたらします。

また自分の夢や目標、自分はこうしたい、こうなりたいと思うことを実際に言葉にすることは大切です。例えば言葉に出すことにより、それを聞いた周りの人は心を動かされ協力してくれたり助けてくれたりと実現に近づいていきます。本当は夢や目標があるのに周りに何も語らず自分の心にしまつておくだけでは当然周りからの助力はありません。助けがあったほうが実現の可能性は高いのは言うまでもないでしょう。さらに言葉にした以上有言実行するためには努力しなければならなくなるので本人は頑張るわけです。それほど言葉の霊力には自分や周りの影響力があるものなのです。

誰しも文句や愚痴、泣き言を言いたい時もあると思いますが、グッと堪えて出来るだけプラスな言葉を発信して良い影響をもたらしていきたいものです。

## ■旬祭参列のご案内

毎月1、10、20日の午前10時から本殿にて、皇室弥栄・国家繁栄等を祈願して旬祭を執り行います。

神饌をお供えし、祝詞奏上や神楽の奉納があります。所要時間は約40分です。その後宮司以下神職が回り持ちで講話を致します。

拜殿にご自由にお入りの上ご参列下さい。





## おめでたい正月の行事②

# カルタ取り

カルタとは歌留多、骨牌などとも表記されポルトガル語が語源とされています。トランプや花札も仲間に含まれる札遊びですが、正月らしいものとしては幼児期から楽しめる「いろはがるた」や坊主めくりでも盛り上がる「百人一首」が思い浮かびます。読み手の声に集中して速さと取り数を競いながら諺や古代中世の和歌を学ぶことが出来ます。

百人一首は歴代天皇やお姫様の絵に目を奪われ、昔の言葉の平仮名の意味も中々分かりにくいですが、半分近くが現代にも通じる恋の心情を歌っていると知れば若い人ももっと親しめて、日本文化の素晴らしさに触れられると思います。

(写真は当社こども会)



## 誓文祭で 沢煮椀が振舞われました

一月の十日えびすが祈願の祭であるのに対して、一年間に授かった「福」に感謝する誓文祭。その十二月二十日十一時半から先着五百名の参加者に「福尽くし沢煮椀」が振舞われました。秋の恵みの野菜・菊花・鶏などを味わいながら、えびすさまの温かい「福」を授かりました。

# ◎福にまつわる

## 「笑う門には福来る」

ことば

四

「門(かど)」とは家・家庭を指し、明るい笑いの絶えない家には幸福が訪れると解釈されています。正月にも楽しむ「いろはかるた」に含まれますが、江戸では「破れ鍋に綴じ蓋」、尾張ほかでは「若いときは二度ない」という言葉も使われ、「笑う門には」は上方とくに京都地方で言い習わされたそうです。「笑う所に福来る」「祝う門に福来る」「和気財を生ず」「笑って損した者なし」も同類と呼べるでしょう。

また最近では医学などの分野からも笑いの効果が認識され、取り組みも行われています。免疫機能の正常化、血糖値の上昇抑制、ストレスの低下、アトピーの改善、脳の活性化やリセット、遺伝子スイッチのオン・オフなど多くの人に必要とされる効能が、いつ、どこでも費用をかけずに得られます。

嘲笑や冷笑はいかかなものかと思いが、朗らかな笑いや楽しい笑いは健康にもよく、福を招くキッカケとなることでしょう。



逆さ門松の描かれた絵馬



# えびすさまのお膝元 にしのみや町あるき

参拝の帰りに  
立ち寄りたい、  
立ち寄って頂きたい場所



## エビスタ西宮

住所…兵庫県西宮市田中町1-6

## 食のつむぎ カフェ UMENOHANA

営業時間/11:00~22:00  
Tel:0798-38-9123

3F

## TIERRA LUZ VIENTO

営業時間/11:00~23:00  
Tel:0798-23-3089

こだわりの新鮮野菜は熊本県山都町にある「土のめぐみ」や日本全国から産地直送で皆様にお届けしています。心と身体に優しいお料理は、お野菜たっぷりのピザやベジタブルプレートなどバリエーションに富んでいます。



1F

## 焼肉・すき焼き 純

営業時間  
ランチ/11:00~15:00  
ディナー(平日)/17:00~23:00  
ディナー(土日祝)/15:00~23:00  
Tel:0798-31-5860

JA 全農ミートフーズ直営だけあり、  
4等級以上の国産和牛がお得に味わえます。

1F

## ミア食堂

営業時間/11:00~23:00  
Tel:0798-31-2688

みんなが集う「おかえりなさい」があふれる店をテーマにイタリアンのテイストを盛り込んだ食堂。型にとられない料理・お酒とワインが楽しめる食堂バル。



# 1月～6月の行事予定

## 1月

- 1日 歳旦祭
- 2日 奉射事始祭
- 3日 元始祭
- 5日 百太夫神社祭
- 9日～10日 えびす「11日まで」
- 25日～ 特別祈祷 福まいる「2月2日まで」



## 2月

- 3日 節分祭
- 9日 初午祭
- 11日 紀元祭
- 17日 祈年祭
- 23日 天長祭

## 3月

- 1日～ えびすさまの勸学祭(小学生のお子様のお勉強向上、通学安全)「4月19日まで」
- 20日 春季皇霊祭 遥拝
- 26日 えびすの森 春休み子ども観祭会
- 28日 百太夫神社講演会 ※詳細は背表紙に記載しております。

## 正月

元日午前零時、拜殿で初太鼓が打ち鳴らされますと賽銭箱の前で待っていた参拝者が一斉にお賽銭を投げ入れ、今年一年の平安と更なる発展をお祈りします。招福御幣・お札・お守・絵馬・御神像・干支土鈴やおみくじ、特に人気の「鯛みくじ」などが各授与所で授与されます。



## 安永4年(1775)饗応御膳の復元

元禄7年(1694)から西宮神社の神主たちが代々書き綴っている『御社用日記』(県指定重文)に詳述される饗応御膳が復元され11月14日の大嘗祭当日祭の直会で参列者に供されました。監修を江戸料理文化研究所の車 浮代 代表にお願いし、東京竹葉亭が調理を担当されました。



## 奉射事始祭



4月

2日 松尾神社祭

3日 梅宮神社祭

9日 宇賀魂神社祭

19日 献茶式

29日 昭和祭

5月

1日 西宮郷醇友会太々神楽祭

3日 大阪第一招福組太々神楽祭

4日 日供講社太々神楽祭

5日 子どもの日祭

西宮太々講社神楽祭 えべっさんこどもまつり

6日 六甲山神社祭

諸国講社太々神楽祭

9日 本えびす講社太々神楽祭

10日 本えびす講社太々神楽祭

15日 大國主西神社祭

6月

14日 おこしやまつり

30日 夏越大祓式



6月30日

夏越大祓式

(人形配布期間6月1日~30日)

四百人余の氏子崇敬者参列

のもと、神職が大祓詞を奏上

し、各々が人形(ひとがた)

で身を撫で、息を吹きか

け、罪穢れを移し、また

切麻(きりぬさ)等でお

祓いをして無病息災を祈

ります。

どなたでもご自由にご参加

いただけます。皆様のお参りを

待ちしております。



夏越大祓式

百太夫神社祭



## 第二回 百太夫神社文化芸術講演会

当社境内の百太夫神社の御神徳の宣揚を図るべく、テレビ・ラジオで活躍され、関東・関西の大学で教鞭もとられる土井善晴氏をお招きして講演会を開催します。

演題 **「純粹料理」**

日時 令和二年三月二十八日(土)

午後一時半 西宮神社・百太夫神社参拝  
午後一時五十分 講演会(九十分)

場所 西宮神社社会館

参加費 無料

定員 二〇〇名

申込み 電話〇七九八・三三三・〇三二二まで



どい よし はる  
講師 土井 善晴 氏

料理研究家 おいしいもの研究所代表  
食の場のプロデューサー  
1957年 大阪府生まれ  
スイス・フランスでフランス料理を、大阪の「味吉兆」で日本料理を修業。和食文化を未来に繋ぐために「和食の初期化」、持続可能な家庭料理のスタイルを提案。  
近著『一汁一菜でよいという提案』(グラフィック社)、『素材のレシピ』(テレビ朝日出版)ほか

## 春のブライダルフェア

二月九日(日)十時～十八時

ご予約  
不要

- ◇和装・洋装衣裳展示試着会
- ◇美容相談会(かつら試着体験)
- ◇本殿挙式説明会
- ◇婚礼料理試食会 **要予約**

厳かに…  
華麗に…  
あこがれの神前式

宮参り等のご会食も承ります。

### 西宮神社社会館

電話 0798-23-3311

info@jinjyakaikan.com

### 編集室から

◆  
今年、五月に平成から令和へと御代替わりがあり、十一月には今上陛下にとつて一世一度の大嘗祭が行われました。日本の神話の時代から受け継がれる稲作を中心として、あらゆる収穫に感謝すると共に、皇位の継承にあたり行われる大嘗祭は特に意義深い祭祀と言えるでしょう。この大嘗祭をはじめ宮中や、全国の神社で行われる種々の「まつり」を通して、伝統や文化など日本や地域の「こころ」が受け継がれていきます。

当社では、御代替わり後はじめての十日えびすや、台風の影響で延期となった和田岬への海上渡御祭、国の重要文化財である表大門(赤門)や大練塀の修理が令和二年にかけ行われます。千載一遇のこの年に賑やかな祭典や美しくなった境内に、お参りをお待ちしております。

特設ホームページで  
西宮神社の最新情報をご  
覧ください。

西宮神社 公式サイト

検索

https://nishinomiya-ebisu.com



西宮神社  
公式サイト  
QRコード